

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス (ふ〜もん)				公表日	2025年3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23		・支援スペースは充分あるので、活動を分けている。個別の対応・強度行動障害も多いため皆が安心できるよう工夫している。	・部屋数はあるが、個別対応も多く、安全に気を付けて活動できるように考えていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23		・国の基準は十分満たしている。 ・きつず職員との協力体制がある。	・強度行動障害児童が増え、安全面を確保する上で、個別対応が多く不足がちになる場合もあるので、通園との協力で安全に見ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23		・写真、カード等使われていてみてわかりやすくなっている。 ・エレベーターが設置されている。	・引き続きわかりやすい環境を提供していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23		・毎日消毒を行って清潔を保っている。	・引き続き清潔に気持ちよく過ごせる感を提供していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	23		・限りある部屋、しきり、マット、机などを使って安心して過ごせる空間を考えて、工夫していると感じます。 ・他の使える部屋もあり使用できる。	・引き続き、連携しながら、無理のない個別の環境も保証していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	22	1	・正規職員のみならず、パートさん方も含めた意識づけも必要。 ・毎日反省会で振り返りを行い、内容を記録している。	・働く時間がまちまちなため、必要な情報はデイリーの記録簿を共有して、徹底していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		・している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		・懇談を設けて話している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	4	・外部評価結果を確認できていないためわからない。	・法人として第三者外部評価は検討中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	20		・事業所内や法人体でも研修がある。	・更に事例検討等研修を充実させていたいと思います。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	5	・作成中	1月20日に公表しましたので、ホームページをご覧ください。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	17	3	・在籍園・保護者・相談支援専門員との連携の元、作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	3	・支援計画は子どもと関わる職員全員でk念頭している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	3	・開始前のミーティングにてケースを見ながら確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1	・強度行動障害のある児童については標準化されたツールを用いている。	・kids以外にも標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを検討していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	2	・ガイドラインに沿った項目で支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20		・行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20		・制作等机上での活動、リズム室で運動活動、屋外での活動、地域での活動とバリエーションに富んでいる。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	20	1	・一人ひとりにあった活動や傘下の仕方を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22		・7支援前にはミーティングを行い、特に注意事項については周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21		・毎日反省会をし、記録をして、回覧して周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21		・毎日記録を取っている。課題があればその都度支援の振り返りを行い改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20		・定期的なモニタリングをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	18	2	・なるべく沿うように支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	21		・自分で選べる方法を考えている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20		・参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20		・医療との連携は必要な時行い、その他は定期的なモニタリングをしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	20		・連携している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	21		・児童発達支援センター出身の児童とは頻繁に連携が取れている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	20		・移行のための支援会議に出席している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17	2	・アドバイスを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	6	・感染症の動向も踏まえ、少しづつ検討していきたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	18	1	・参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	1	送迎時、電話、メール等で行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	2		もう少し、家族等で参加できる研修や行事の機会を設けていきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19		丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19		懇談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	18	1	・同意を得てサインをもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20		・家族から相談を受け対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	5	・親子行事の企画。 ・保護者会は開催されていないが、親子行事が開催され、交流できている。 ・保護者会等の開催がなかったように思います。どのように設けていくのか等を考えていくことから始めていくようにする（今までのやりかたも含め）。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20		・体制は整っている。 ・苦情は速やかに情報共有して対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	3	・活動の詳細等その都度通信やメールで配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21		・十分配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20		・こまめに連絡を取ったり、視覚支援等わかりやすいコミュニケーション方法を取っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5	・感染症状況を踏まえて、今後は更に力を入れていきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21		・感染症マニュアル等配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20		・毎月様々な想定で避難訓練をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	21		・事前に関き取り、園内で可能な会議を、主治医の指示書をもらって、対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21		・医師の指示書に従っている。・テーブル、パーテーションや部屋を分けたり等工夫している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21		・している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20			安全確保の取り組み内容についてもご家族等へ周知していきたいと思っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21		ヒヤリハットを事業所内で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22		事業所内や法人全体で全員参加の研修をしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	18		・		